

海外ビジネス



鈴木 直樹

海外担当

2024年度の海外ビジネスは、市場の変動や地政学リスクの高まりにもかかわらず堅調に推移し、グループ全体の経常収支を下支えしました。2025年度はマーケットの急激な変動から始まりましたが、国内と同様、海外においても取るべき戦略の方向性は変わりません。

持続的成長の実現に向けて、各拠点の特徴をより活かした事業に集中するとともに、拠点間におけるシナジーを追求していきます。欧州・米州ではFICCやM&Aなどにおいて連携を加速させるとともに、アジアではインドなど成長著しい市場において現地パートナーとの提携を推進します。また、香港と中国間における投資銀行業務での連携も強化します。

加えて、リスク管理やコンプライアンス体制のさらなる強化、および全拠点での業務自動化の推進により、効率的・安定的な事業基盤を整備していきます。海外拠点間の連携強化により「お客様の資産価値最大化」に貢献していきます。

当社グループの海外ビジネスは、各地域の競争優位性を活かした戦略的なリソース配分や積極的な提携・投資により、持続的な成長基盤の構築を進めています。

米州では、FICCビジネスが収益の柱となっています。多様なプロダクトを通じた収益化を推進し、安定した顧客フローを確保しています。また、地方金融都市でのサテライト

オフィス展開により、顧客基盤の多様化を実現しています。エクイティでは、セールスやアナリストのアップグレードにより、WM部門との協働を強化していきます。

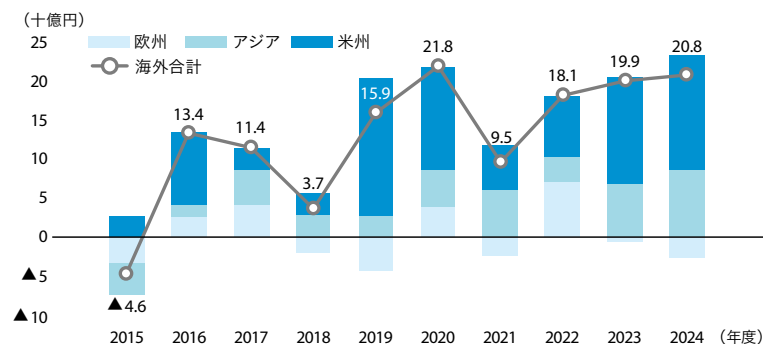
欧州・中近東では、抜本的なコスト削減を実施し、効率的な販売拠点として安定的に利益を計上できる体制を整備しています。FICCでは、米州との一体運営を推進することでプロダクトの拡充とセールス活動の効率化を目指します。エクイティでは、中近東へのセールス活動を一層強化していきます。M&Aでは、プレゼンス強化とコストコントロールの両立に注力します。

アジア・オセアニアでは、日本株プロモーションの強化によりパンアジア株投資家からの収益力向上を図っています。WCS*ビジネスでは、シンガポール・香港に加えてバンコク拠点も設立予定です。さらに、日本人富裕層に加え中国人富裕層の開拓による顧客基盤拡大にも積極的に取り組んでいます。また、提携戦略では、提携先を通じた市場成長の享受に加え、当社グループとのシナジー創出にも注力しています。2024年にインドのノンバンクであるAmbit Finvest Private Limitedに15%出資しました。高成長が見込まれるインドのノンバンク事業の成長を取り込むとともに、インドにおける金融包摂促進にも貢献していきます。

引き続き、各地域の強みを最大限に活用しながら海外ビジネスの持続的成長を実現していきます。

* Wealth and Corporate Solutions：主に海外居住の日本人富裕層や海外現地法人を中心としたお客様に対するプライベートバンキングサービス

海外ビジネス 経常利益推移



各地域の今後の方向性

欧州

- ・シンプルで効率的な業務運営体制を実現し、安定的な利益を創出
- ・グローバルM&AアドバイザリープラットフォームDC AdvisoryにおけるM&A関連収益の伸長

アジア・オセアニア

- ・アジア地域全体での日本株プロモーションを強化
- ・アジア地域における富裕層ビジネスの強化と基盤拡充
- ・既存ビジネス領域での提携戦略の拡大や、新規分野への投資の検討

米州

- ・強みであるFICCを中心とした既存ビジネスの収益力最大化
- ・米国株でウェルスマネジメント部門との協業強化
- ・既存ビジネスとシナジーのある領域でのM&Aや資本業務提携の検討